

0ABJ転送電話サービスについて

ソフトバンク株式会社
技術渉外部 制度企画推進課
2018年4月26日



1. ホワイト光電話

2. Bizダイヤル

1. ホワイト光電話(0ABJ IP電話)

着信転送サービスは、ホワイト光電話の付加サービスで、かかってきた電話を契約者があらかじめ指定した電話番号に転送するサービスです。



1.ホワイト光電話(0ABJ I P 電話)

項目	回答
転送電話サービスを提供する契約者の拠点と番号区画の関係	ホワイト光電話（固定電話）については、契約時に契約者の拠点・住所が番号区画内にあることを確認しています。 なお、契約者が番号区画外に移転した場合、移転後の番号区画の番号へ変更を行います。
転送電話サービスに係るネットワーク構成(回線設備、GW設備の設置状況等)	0ABJ番号が付与されている固定回線の設置場所は、契約者拠点（事務所や住居）です。 なお、着信転送は当社網内に設置している交換機にて制御されています。
緊急通報の確保の状況(緊急通報の可否、提供条件、緊急機関への位置情報発信等)	ホワイト光電話からの緊急通報は可能であり、特段利用条件等の制限はありません。 なお、発信転送は提供しておりません。
転送される場合の利用者への通知(特にインターネットを経由する転送の場合、音声ガイダンスや発信音等の有無と内容)	着信転送される際、音声ガイダンスや発信音はありません。

1.ホワイト光電話(0ABJ I P 電話)

項目	回答
転送される場合の利用者に表示される番号(番号区画外からの発信の場合、日本国外からの発信の場合、インターネット経由の場合等)	(着信転送) 発信者が番号通知を行って発信し、転送先が番号表示可能な電話機をご利用の場合、転送先で表示される電話番号は発信者の番号となります。 (発信転送) 発信転送は提供していません。
転送電話の発信元を着信者に誤認させない措置、発信元の番号(着信者に表示された番号)に発信すれば発信元に着信することを確保する措置	同上
インターネットを経由する転送の場合のセキュリティの措置(GWでの認証・暗号化等、なりすまし・情報漏洩等の防止措置の有無と内容)	インターネットに転送はしていません。
転送電話を提供するネットワークにおける通話品質の確保(0AB～J番号に求められる通話品質よりも低水準の品質区間を経由するか等)	転送先の電話機が携帯電話や050IP電話であれば、0ABJ番号に求められる通話品質基準よりも低い網を経由します。

1.ホワイト光電話(0ABJ I P 電話)

項目	回答
0 AB～J番号の指定を受けた事業者(卸元事業者)から卸提供を受けて卸先事業者が転送電話サービスを提供している場合の、卸元事業者による卸先事業者のサービス内容等の把握状況	ホワイト光電話は卸提供をしておりません。
転送電話サービスにおいて0 A B ～ J 番号を使用する必要性(0 5 0 番号を使用することでは何故いけないのか等)	ホワイト光電話において発信転送は提供しておりません。
転送電話サービスを利用する契約者(特に法人ユーザ)の意見(転送電話サービスのメリットや利便性、0 5 0 番号を使用することでは何故いけないのか等)	同上
その他	本人確認についてはサービス契約時に身分証明書（顔写真の有無、複合書面等）で行っており、利用者の範囲は、契約者本人のみに限っています。

1. ホワイト光電話

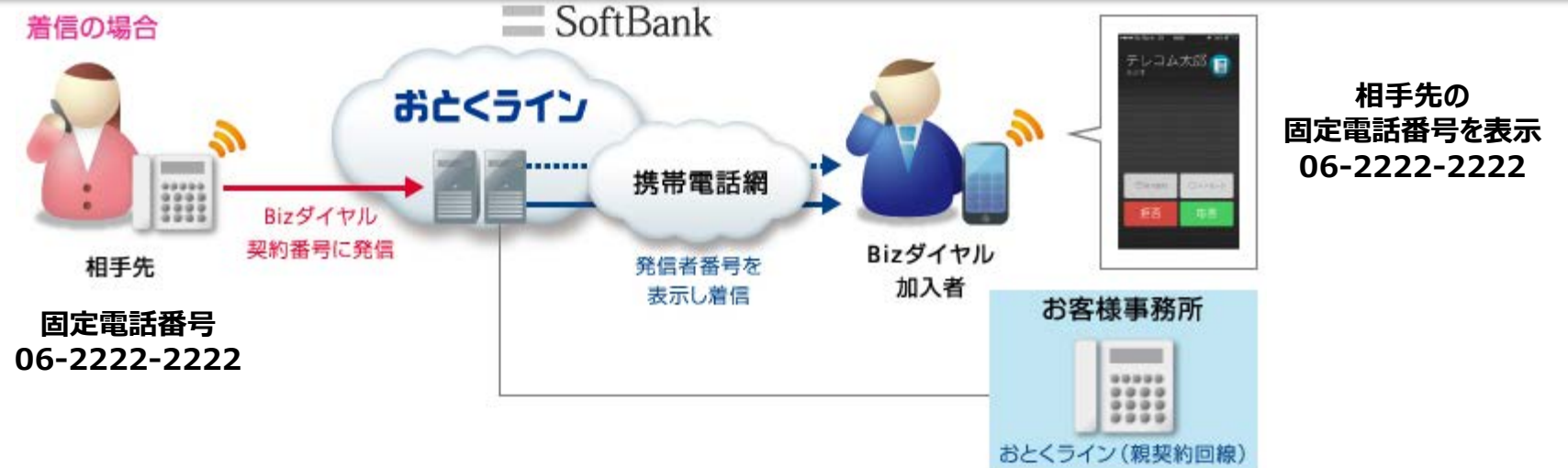
2. Bizダイヤル

2. Bizダイヤル

Bizダイヤルは、おとくラインの付加サービスとしてスマートフォンから業務用固定電話（0ABJ電話）の番号で発着信が可能な法人様向けのサービスです。

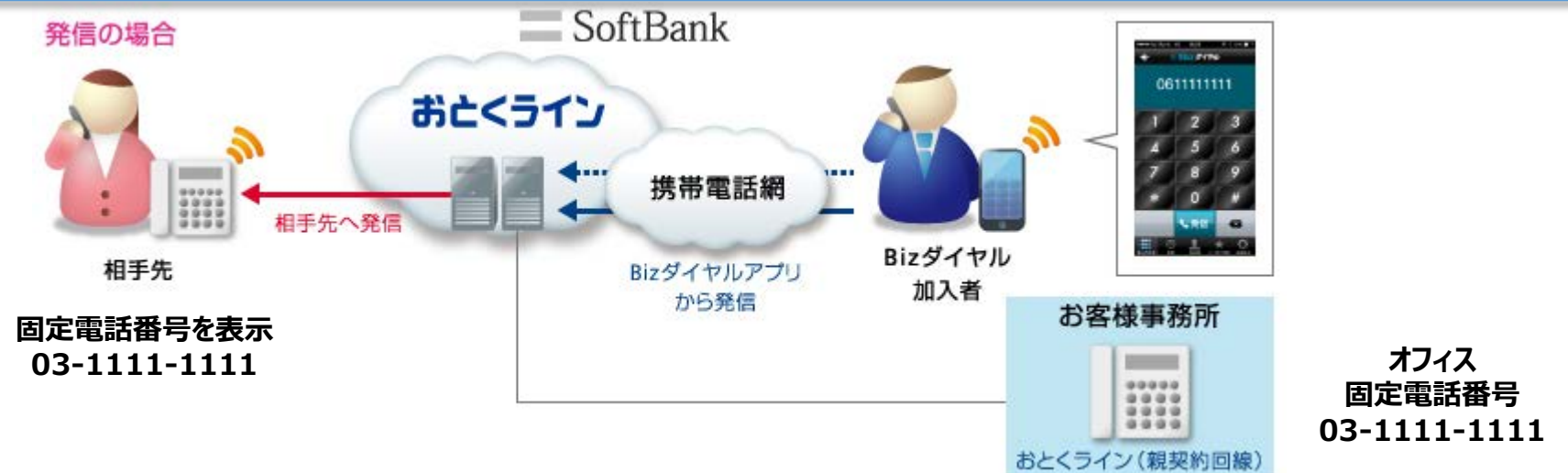
着信転送

相手先から事務所固定電話番号へ着信があった場合
（Bizダイヤル加入者のスマホへ転送）



発信転送

Bizダイヤル加入者が外出先より相手先電話番号へ発信した場合



項目	回答
転送電話サービスを提供する契約者の拠点と番号区画の関係	おとくラインの契約時に契約者の拠点・住所が番号区画内にあることを確認しています。※Bizダイヤルはおとくラインの付加サービスです なお、契約者が番号区画外に移転した場合、移転後の番号区画の番号へ変更を行います。
転送電話サービスに係るネットワーク構成(回線設備、GW設備の設置状況等)	0ABJ番号が付与されている固定回線の設置場所は、契約者拠点（事務所等）です。 なお、着信転送・発信転送は当社網内に設置している交換機にて制御されています。
緊急通報の確保の状況(緊急通報の可否、提供条件、緊急機関への位置情報発信等)	Bizダイヤルからの緊急通報は、利用者の所在地と異なる緊急通報機関へ接続される可能性があり、また混乱を招く可能性がある為、ご利用できません。 なお、Bizダイヤルより緊急通報機関へダイヤルした場合、都度、携帯電話番号からの迂回発信となる旨のメッセージを表示しております。
転送される場合の利用者への通知(特にインターネットを経由する転送の場合、音声ガイダンスや発信音等の有無と内容)	Bizダイヤルでは転送される際、音声ガイダンスや発信音はありません。

項目	回答
転送される場合の利用者に表示される番号(番号区画外からの発信の場合、日本国外からの発信の場合、インターネット経由の場合等)	(着信転送) 発信者が番号通知を行って発信した場合、転送先の携帯電話に表示される電話番号は発信者の番号となります。 (発信転送) 発信元の番号ではなく、契約者拠点の電話番号が発信先へ通知されます。
転送電話の発信元を着信者に誤認させない措置、発信元の番号(着信者に表示された番号)に発信すれば発信元に着信することを確保する措置	(着信転送) 同上 (発信転送) 同一法人契約者・同一拠点契約の番号のみ通知が可能であり、同一性については契約時に行っています。
インターネットを経由する転送の場合のセキュリティの措置(GWでの認証・暗号化等、なりすまし・情報漏洩等の防止措置の有無と内容)	インターネットに転送はしていません。
転送電話を提供するネットワークにおける通話品質の確保(0AB～J番号に求められる通話品質よりも低水準の品質区間を経由するか等)	転送先は携帯電話ですので0ABJ番号に求められる通話品質基準よりも低い網を経由します。

項目	回答
0 AB～J番号の指定を受けた事業者(卸元事業者)から卸提供を受けて卸先事業者が転送電話サービスを提供している場合の、卸元事業者による卸先事業者のサービス内容等の把握状況	Bizダイヤルは卸提供をしておりません。
転送電話サービスにおいて0 A B～J番号を使用する必要性(0 5 0番号を使用することでは何故いけないのか等)	法人において、通常の業務用途では社会一般的に信頼性の高い0ABJ番号での通話が必須であり、各自の名刺やHPなどで対外的に広く告知しています。しかし、会議や外出時など一時的に離席した場合には即時に応答できずにビジネスチャンスを逃したり、伝言漏れや誤対応でのトラブルが発生することなどにより、離席中でもリアルタイムに当該電話番号での着信および、0ABJ番号を通知して折り返し発信可能となるサービスへのご要望が強いです。
転送電話サービスを利用する契約者(特に法人ユーザ)の意見(転送電話サービスのメリットや利便性、0 5 0番号を使用することでは何故いけないのか等)	会議や外出時などで一時的に離席した場合にも、ビジネスで利用の0ABJ番号で応答でき、また折り返し発信できることによりビジネスチャンスを逃さず、また代理応答などによるトラブルの防止や人件費削減をメリットとしています。また、在席中でも業務用携帯電話で応答／発信できるため、宅内設備コスト削減および、社員増減やレイアウト変更時などの設備運用・管理面で利便性を感じています。 050番号は法人ビジネスでは社会一般的にまだ信頼性が低く、050番号を利用するケースは少ないです。

項目	回答
その他	本人確認については主サービスの契約（おとくライン）及び転送利用する法人携帯電話契約において登記簿取得等で行っています。 なお、利用者の範囲については、転送利用の携帯電話契約者が法人同一名義であること・電気通信事業者ではないこととしています。

End of File